



# 校長通信

令和5年度24号 令和5年12月12日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

## 《いのちの授業を実施しました！》

12月8日、本校体育館にて、5限目、3年生を対象に、6限目、2年生を対象に、日本赤十字社和歌山医療センターの助産師さんから、「命の授業」を実施していただきました。

昨年度に引き続きの取組です。2年生対象の授業では、まず、講師先生の勤務する病院の説明がありました。その後、命の大切さ、生きていることがいかに素晴らしい事であるかということを生徒に話していただきました。そして、一部の代表生徒ですが、妊婦体験や、あかちゃん抱っこ体験をして、人が誕生することの尊さを実感しました。

3年生は、昨年度、妊婦体験等しているのので、そこは割愛し、命の大切さについて学びながら、現在の日本社会の背景を見据えて、自分の将来にむけてライフプランを考える話をしていただきました。

日々、命と直接関わっている助産師さんの言葉は、本当に重みがありました。私は、「生きているだけで100点満点」ということばが特に耳に残っています。ここで余談ですが、この12月8日という日は、私の父の命日でした。36年前のこの日、父は51歳という若さで、病気で他界しました。まだまだやり残したことがあったらと思うます。当時、私は、まだ大学を卒業しておらず、将来について夢はもっていましたが、それが本当に実現できるかわからず、落ち着かない日々をおくっていたと記憶しています。36年後の12月8日に、生徒と一緒に命の授業を受けている自分の姿を全く想像できませんでした（当たり前の話ですが）。今年の「命の授業」は、私にとって、特に命の尊さを実感させてくれる授業となりました。



## 《第76回和歌山市中学校駅伝競走大会で河北中生健闘！》

12月9日、紀三井寺公園運動場で、駅伝大会が開催され、本校から男子2チーム、女子2チームが出場し、力走しました。結果は、男子Aチームが7位入賞、Bチームが16位、女子Aチームが11位、Bチームが19位でした。

選手は、約1か月前から、朝の練習に熱心に参加してくれました。河北中学校の代表として、参加してくれた選手のみなさん、お疲れさまでした。

## 《関西学連剣友会主催の剣道大会に参加しました！》

12月9日、大阪府交野市体育館で開催された大学OB剣道大会に母校の名を背負い、3人制団体戦の大将として出場しました。1回戦、鹿屋体育大学と対戦し、健闘むなしく2-0で敗れました。相手は、体育大学出身で、かなり強かったです。試合では負けましたが、良い稽古の機会となりました。

この大会、和歌山市中学校駅伝大会と日が重なってしまい、駅伝の応援に行くことができませんでした。しかし、生徒は駅伝で、私は剣道で、お互い、自分の力を出せたので良かったかなと思っています。